

第一次笛吹市総合計画後期基本計画施策別総括シート

将来像	まちづくりの方向	No.	施策	No.	総合計画で掲げる達成目標の達成状況・見込み										行政評価(施策評価)における総括(環境変化、成果水準実績、現状と課題)				
					指標		基準		達成目標					29年度達成状況の背景	29年度目標値の達成状況	後期基本計画期間における環境変化	ここ3年間の成果水準の実績	全体総括(現状と課題)	
					項目	単位	年度	数値	項目	H25	H26	H27	H28						H29
みんなで奏でる「にぎわい・やすらぎ・きらめき」のハーモニー	地域の特色を活かした土地利用をすすめるまちづくり	1	農地面積	km2	H23	35.6	目標値(策定時)	35.3	35.2	35.1	35.1	34.7	農振計画の見直しによる面積減少により未達成	未達成	◇笛吹市として、総合計画、国土利用計画、都市計画マスタープラン、農業振興計画等、土地利用に関する計画が策定された。景観計画を策定した。 ◇耕作放棄地の減少が見られない。 ◇農用地区域面積は横ばいである。 ◇H27年度には、芦川地域における笛吹市過疎地域促進自立計画を見直し新たな計画を策定した。	成果はほとんど変わらない(横ばい状態)	◇農地面積は、H27年度35.3km ² 、H28年度32.7km ² 、H29年度32.7km ² と減少している。 ◇用途区域内の都市的土地利用面積は、1.99km ² から2.04km ² となった。 ◇地籍調査認証率は、H27年度92.8%、H28年度93.0%、H29年度93.0%とほぼ横ばい状態が続いている。	◇国土利用計画、都市計画マスタープランが策定され、計画的な土地利用への誘導が必要。 ⇒計画的な土地利用の誘導のためには、施策の目的直結度が高い「宅地開発事前協議事業」の的確な運用が効果的である。 ⇒H24年度に景観条例を制定した。この条例に伴い景観法に伴う行為の届出を行い景観形成の誘導を行う。 ◇地籍調査事業は現在、市部地区の認証に向け事業を行っている。今後も未認証地区の解消に向け取組を続ける。山林の地籍調査時期は未定である。 ◇耕作放棄地の面積を減らすために農地を山林に用途変更する動きがあり、今後、農用地の面積が減少する可能性がある。	
							実績値	35.3	35.2	35.3	32.7	32.7							
							目標値(策定時)	2.03	2.04	2.05	2.06	2.07							H24年度の実績調査による1.99km ² から、5年間で0.05km ² に増加した。目標値には届いていないが、用途地内の98%が都市的利用がなされ、残りは僅かにある農地のみとなっているため、ほぼ計画通りの状況である。
	目標値(計画見直し)	2.03	2.04	2.05	2.06	2.07													
	実績値	1.99	1.99	1.99	1.99	2.04													
	3	地籍調査認証率	%	H24	92.8	目標値(策定時)	93.0	93.6	95.3	96.0	98.4	継続事業として石和市部地区の認証事業を行っているが認証に至っていない。	未達成						
						目標値(計画見直し)	93.0	93.6	95.2	95.9	98.4								
						実績値	92.8	92.8	92.8	93.0	93.0								
	2	人が行き交う道路・交通ネットワークづくり	4	幹線道路網が整備され移動しやすい街だと感じている市民の割合	%	H23	45.5	目標値(策定時)	50.0	50.0	50.5	50.5	51.0	国県事業等幹線道路の整備が進んだため					達成
								目標値(計画見直し)	50.0	50.0	50.5	50.5	51.0						
実績								41.5	-	-	-	51.7							
5			規格道路改良率	%	H24	53.9	目標値(策定時)	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	限られた予算の中で計画的に道路改良を進めたが未達成となった。	未達成					
							目標値(計画見直し)	56.0	58.0	59.0	60.0	61.0							
							実績	57.2	58.2	59.7	60.4	60.8							
6			デマンドタクシー利用登録者数	人	H23	1,288	目標値(策定時)	1,800	1,920	2,100	2,310	2,540	広報への掲載及び主要施設へ利用ガイドの配布を行ったが、周知不足と考えられる。	未達成					
	目標値(計画見直し)	1,800					1,920	2,370	2,610	2,870									
	実績	1,924					2,156	2,387	2,617	2,740									
7	デマンドタクシー利用者数(延べ)	人	H23	3,696	目標値(策定時)	7,610	8,860	9,670	10,140	10,620	他の交通機関との接続状況や、運行時間など、より利用しやすい環境となっていないことが考えられる。	未達成							
					目標値(計画見直し)	7,610	8,860	7,120	8,350	9,180									
					実績	6,887	6,784	7,798	8,449	8,046									
3	機能的で魅力ある市街地づくり	8	JR石和温泉駅1日当り乗・降者数	人	H23	5,132	目標値(策定時)	5,180	5,180	5,232	5,284	5,337	観光入込客数はH26年をピークに減少しているが、鉄道を利用した観光客が増加したことによるものと思われる。	達成					
							目標値(計画見直し)	2,590	2,590	2,616	2,642	2,668							
							実績	2,798	2,785	2,846	2,931	2,961							
		9	対象地域(6地区)の人口	人	H23	5,901	目標値(策定時)	5,936	5,954	5,972	5,990	6,008	石和町駅前区以外の市街化が進んでいないため。	未達成					
							目標値(計画見直し)	5,936	5,954	5,972	5,990	6,008							
							実績	5,870	5,874	5,898	5,917	5,950							
10	市街地の魅力が高まっていると考える市民の割合	%	H23	17.6	目標値(策定時)	20.3	20.3	20.7	21.1	21.5	地価公示は下降が続いているが、市街化が進んでいる地域ではわずかながら人口増が見られる。	達成							
					目標値(計画見直し)	20.3	20.3	20.7	21.1	21.5									
					実績	21.3	-	-	-	24.5									

第一次笛吹市総合計画後期基本計画施策別総括シート

将来像	まちづくりの方向	No.	施策	No.	総合計画で掲げる達成目標の達成状況・見込み										行政評価(施策評価)における総括(環境変化、成果水準実績、現状と課題)					
					指標		基準		達成目標					29年度達成状況の背景	29年度目標値の達成状況	後期基本計画期間における環境変化	ここ3年間の成果水準の実績	全体総括(現状と課題)		
					項目	単位	年度	数値	項目	H25	H26	H27	H28						H29	
みんなで奏でる“にぎわい・やすらぎ・きらめき”のハーモニー	4	人々の交流を盛んにするしくみづくり	友好都市交流事業への参加市民数	人	H23	516	目標値(策定時)	600	600	650	650	700	友好都市交流への市民の意識醸成、交流事業参加への取組が進んでおらず、参加者の増加につながらない状況である。	達成	◇外国人観光客が減少傾向にある。 ◇H26年度からミズベリング事業を開始した。 ◇H28年度から中国天津市との教育交流が始まった。 ◇H28年度、タイ王国とオリンピックキャンプ地誘致等に関する協定を結んだ。	◇友好都市交流事業への参加市民数は、H27年度743人、H28年625人、H29年度714人であった。	◇国内地域間交流については、都市間協定などの取り交わしがなく旧町村(地域)で交流を行っており、市として地域間交流が生かされていない。それぞれの交流経緯等を生かしながら、市としての交流テーマを設定して地域間交流を生かす必要がある。そのためには市役所の組織体制、市民との協働事業の取組みの促進などを見直していくことが求められる。 ◇地域間交流を継続していくうえで、市民レベルでの交流を促していく必要があるが、参加の確保のための自発性を促す支援が不可欠である。 ◇芦川農産物直売所については、交流人口目標を下回っているが、さらなる交流人口増に向け、地域内外の関連施設との連携が必要である。			
							目標値(計画見直し)	600	600	650	650	700								
		実績	594	812	743	625	714													
		5	もてなしの心があふれる観光地づくり	石和温泉・果実郷周辺年間観光客数(延べ)	万人	H23	304	目標値(策定時)	330	330	335	335	340	これまでのインバウンド観光客の旅行形態が団体旅行から個人旅行へ変化したこと、また富士山方面から箱根、大阪、京都へと移動してしまうことなどが挙げられる。				未達成	◇近年は、旅行形態の変化により観光客が減少している。 ◇H25.4.10に「日本一桃源郷宣言」と「笛吹市桃源郷の日」を制定した。 ◇H25年度、富士山が世界文化遺産として登録された。 ◇2027年東京・名古屋間リニア営業開始が決定した。 ◇2020年東京オリンピック開催が決定した。	◇石和温泉・果実郷周辺年間観光客数(延べ人数)は、H27年度329万人、H28年度316万人、H29年度312万人と年々減少傾向にある。 ◇石和温泉郷年間宿泊客数(推計宿泊数)は、H27年度154万人、H28年度143万人、H29年度154万人となっている。 ◇フィルムコミッションによる誘致件数は、H27年度16件、H28年度16件、H29年度16件と横ばい状態であった。
								目標値(計画見直し)	330	330	335	335	340							
								実績	327	350	329	316	312							
	14		石和温泉郷年間宿泊客数(推計宿泊数)	万人	H23	84	目標値(策定時)	86	87	88	89	90	観光客数は減少傾向にあるが、富士山世界文化遺産登録による富士河口湖方面を訪れる観光客は増加し、それにもなると本市への宿泊者は増加している。	達成						
							目標値(計画見直し)	86	87	88	89	90								
							実績	93	103	154	143	154								
	15	フィルムコミッションによる誘致件数	件	H23	14	目標値(策定時)	15	16	17	18	19	継続的に積極的な受け入れ態勢を取っているが、撮影条件に合致しないケースもありなかなか誘致につながっていないものもある。	未達成							
						目標値(計画見直し)	15	16	17	18	19									
						実績	20	20	16	16	16									
	6	桃・ぶどう日本一を誇る魅力的で安定的な農林業づくり	16	認定農業者数(延べ)	人	H23	517	目標値(策定時)	540	550	550	570	580	笛吹市地域農業再生協議会による認定農業者の新規・更新の掘り起こしを積極的に進めた結果と考えられる。	達成	◇農産物に対する残留農薬の基準が厳しくなり、ポジティブリストが導入された。 ◇H26年2月14日の大雪により施設栽培農家のほとんどが全壊の被害を受けたが、被災者の9割相当の者が再建を希望し、平成27年度中に、国県市の助成を受け全ての被災施設が復旧した。 ◇H27年度、世界農業遺産の認定に向け協議会を設立。 ◇H28年3月、日本農業遺産に認定。 ◇H27年度、産地協議会が発足し、全国桃サミットを開催した。	◇認定農業者数は、H27年度862人、H28年度930人、H29年度935人で増加傾向にある。◇新規就農者、新規就農農業者数は、H27年度18人、H28年度16人、H29年度14人と減少であった。 ◇森協定締結数は、H26年度6社、H27年度6社、H28年度7社、H29年度で5社で横ばい状態にある。 ◇桃の収穫量は、H26年度、27年度共に19,800tであり、H28年、H29年20,005tと増加となった。 ◇H26年2月14日の大雪により施設栽培農家のほとんどが全壊の被害を受けたが、被災者の9割相当の者が再建を希望しH27年度中に国県市の助成を受け全ての被災施設が復旧した。 ◇ぶどうの収穫量は、H26年度、27年度共に13,400tであり、H28年度は、13,400t、H29年度は、13,400tと減少した。◇農林水産省調査データ最新がH24年度のため、推計値			
								目標値(計画見直し)	540	550	550	570	580							
								実績	628	710	862	930	935							
			17	新規就農者・新規就農農業者数	人	H23	33	目標値(策定時)	40	40	40	40	40	雇用環境の変化や新規就農農業者支援制度の影響が考えられる。	未達成					
								目標値(計画見直し)	40	40	40	40	40							
								実績	42	36	18	16	14							
		18	農業生産法人数(延べ)	社	H23	19	目標値(策定時)	22	24	26	28	30	所得800万以上との条件はあるが、法人化のメリットや経営基盤の拡大に対する相談が年間数件あり、経営可能と判断できれば法人化を積極的に進めたが未達成	未達成						
							目標値(計画見直し)	22	24	26	28	30								
							実績	25	25	27	28	28								
		19	企業・団体の森協定締結数(延べ)	社	H22	6	目標値(策定時)	8	9	10	11	12	不景気の影響が考えられ、地域貢献並びに自社の福利厚生にまで手が回らない状況と思われる。	未達成						
							目標値(計画見直し)	8	9	10	11	12								
							実績	6	6	6	7	5								
20	桃の収穫量	トン	H22	23,806	目標値(策定時)	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	気象災害の回復からやや回復傾向ではあるが完全な復興に至っていないため。	未達成								
					目標値(計画見直し)	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000										
					実績	19,800	19,800	19,800	20,005	20,005										
21	ぶどうの収穫量	トン	H22	14,241	目標値(策定時)	14,200	14,200	14,200	14,200	14,200	気象災害から回復傾向ではあるが完全な復興に至っていないこと、また、品種の転換等により減少したと考えられる。	未達成								
					目標値(計画見直し)	14,200	14,200	14,200	14,200	14,200										
					実績	13,600	13,600	13,600	13,400	13,400										

第一次笛吹市総合計画後期基本計画施策別総括シート

将来像	まちづくりの方向	No.	施策	No.	総合計画で掲げる達成目標の達成状況・見込み										行政評価(施策評価)における総括(環境変化、成果水準実績、現状と課題)					
					指標		基準		達成目標					29年度達成状況の背景	29年度目標値の達成状況	後期基本計画期間における環境変化	ここ3年間の成果水準の実績	全体総括(現状と課題)		
					項目	単位	年度	数値	項目	H25	H26	H27	H28						H29	
実り多い産業と人々の集うまちづくり	7	活力ある地域経済づくり	22	企業誘致(企業誘致活動を含む)件数	企業	H23	0	目標値(策定時)	3	4	4	5	5	輸出関連企業とリサイクル業者であり、企業活動が上向いていると思われるが、未達成となった。	未達成	成果がどちらかと言えば向上した	◇団塊世代の退職後の雇用機会の要求が高まる。 ◇企業の求める雇用形態が変わり、非正規雇用が増加した。一方、就業者のコースも変化した。パートタイム労働や派遣・契約社員など、就業形態が多様化している。 ◇経済情勢の変化に伴って若者の雇用状況が変化している。 ◇農家の高齢化が進み、労働力確保のためシルバー人材派遣センターへの依頼が増えた。	◇企業誘致(企業誘致活動を含む)は、H27年度は実績値2、H28年度は実績値5、H29年度は実績値4企業と増加傾向にある。 ◇企業への就業人数(市内企業特別徴収者数)は、H27年度19,485人、H28年度20,054人、H29年度21,469人と増加傾向にある。 ◇H21年度からは、商工総務事務の中で市内の企業を対象とした企業就職ガイダンスを開催し、企業に対して人材確保の場を提供した。 ◇H23年度末発生した東日本大震災の二次的影響により、商工業者は厳しい状況下に置かれたため、市は笛吹市商工振興災害対策資金の融資制度を打ち立て、状況改善に努めてきたが、いまだ厳しい状況は続いている。平成28年度から創業者への経営、融資等の指導を行うには専門性が必須であることから経営指導員のいる笛吹市商工会にワンストップ窓口を設置した。		
								目標値(計画見直し)	3	4	4	5	5							
								実績	0	0	2	5	4							
	23	企業への就業人数(個人住民税の特別徴収者数)	人	H23	16.018	目標値(策定時)	16,300	16,400	16,500	16,600	16,700	雇用が増加しているのは、輸出関連企業等における円安好況によるものと、税務課による企業への特別徴収推進に関する活動の成果が現れたことによるものと思われる。	達成							
						目標値(計画見直し)	16,300	16,400	16,500	16,600	16,700									
						実績	16,498	18,098	19,485	20,054	21,469									
	24	企業ガイダンス参加企業数	企業	H23	25	目標値(策定時)	25	25	25	25	25	雇用情勢が好転し、求人需要が増加したと思われる。	達成							
						目標値(計画見直し)	25	25	25	25	25									
						実績	14	23	19	26	32									
	みんなで奏でる「にぎわい・やすらび・きらめき」のハーモニー	8	災害に強い安全な備えづくり	25	被害想定被災者数に対する食料の備蓄率	%	H23	83.8	目標値(策定時)	88.0	91.0	94.0	97.0	100.0	蓄倉庫のスペースがないため、訓練時に消費した分のみの補充		未達成	成果がどちらかと言えば向上した	◇地震等災害に対して市民の関心は高まっている。 ◇木造個人住宅耐震化支援を行っている。 ◇防災の拠点となる本庁舎耐震改修事業が完了した。 ◇大雪(種別ごと)による災害対策の見直しが必要となった。 ◇H25年度から要援護者台帳システムを導入した。	◇被害想定被災者数に対する食料の備蓄率は、H26年度84.2%、H27年度84.2%、H28年度84.2%となっている。 ◇行政区における防災訓練参加率は、H26年度16.8%、H27年度17.5%、H28年度19.5%、と少しづつ上昇した。 ◇行政区における自主防災マップ整備率は、H26年度10.6%、H27年度10.6%、H28年度16.6%と少し上昇した。
									目標値(計画見直し)	88.0	91.0	94.0	97.0	100.0						
									実績	79.7	84.2	84.2	84.2	84.2						
26		行政区における防災訓練参加率	%	H23	16.4	目標値(策定時)	20.0	22.0	23.0	24.0	25.0	熊本地震により意識が高まったことから増加傾向にあるが目標は未達成	未達成							
						目標値(計画見直し)	20.0	22.0	23.0	24.0	25.0									
						実績	17.6	16.8	17.5	19.5	21.0									
27		行政区における自主防災マップ整備率	%	H23	5.3	目標値(策定時)	40.0	60.0	75.0	90.0	100.0	災害に対する意識は向上しているが、自主的に防災対策に取り組むまでには至っていない状況である。	未達成							
						目標値(計画見直し)	40.0	60.0	75.0	90.0	100.0									
						実績	10.6	10.6	10.6	16.6	16.6									
命を守り安心して暮らせるしくみづくり		9	消防や救急医療体制が整い安心して暮らせることを考えている市民の割合	%	H23	50.6	目標値(策定時)	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	消防施設整備事業及び救急医療事業等を主要事業と位置づけ事業を実施してきたが、市民の皆様方には、実感していただける状況がなかったと考えられる。	未達成	成果がどちらかと言えば向上した	◇消防や救急医療体制が整い安心して暮らせることを考えている割合は、H25年度の49.5%から51.4%と僅かだが上昇した。 ※市民の消防行政に対する意識調査として平成28年度から新たにアンケートを試みているが、十分な標本を得ることができず、有効な実績値ではないため時系列比較を行っていない。 ◇住宅用火災警報器の設置率は、平成27年度69.0%、平成28年度70.3%、平成29年度は73.9%と上昇しており、県の数値に近づいている。 ◇消防・防災・救急医療体制が整って、安心して暮らすことができるようにするため、消防施設の整備等を進め、平成29年度末には、建設中であった2つの出張所が完成し運用開始ができた。 ◇消防・防災・救急医療体制が整って、安心して暮らすことができるようにするため、消防署員の資質の向上が必要である。 ◇高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線システムが構築され、平成27年度から正式に運用が開始されたことでハード面・ソフト面ともに、常に正常な状態を保持することができている。 ◇市民の消防行政に対する意識調査を試みているが、有効な実績値を見い出せていないので、さらに積極的にあらゆる機会を捉えて調査に取り組み、数値の低い地域の消防体制の充実整備を図るなどして、目標値以上の実績値を得られるよう努力する。 ◇住宅用火災警報器の設置率について、県と同等であるが条例に適合する場所となると低値である。H30年度は条例に適合する場所への設置と、機器交換を含めた維持管理に重点をおく「普及啓発」を展開する。 ◇消防・防災・救急医療体制が整って市民が安心して暮らすことができるように、救急隊の育成、消防車両の整備、地元消防団との連携強化等が必要である。				
							目標値(計画見直し)	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0								
							実績	49.5	-	-	-	51.4								
	29	住宅用火災警報器設置率	%	H24	57.0	目標値(策定時)	61.0	65.0	69.0	72.0	75.0	目標値には届かなかったが、核家族化が進み、平成18年以降、新築住宅が増加したことで、設置率が上がったと考える。	未達成							
						目標値(計画見直し)	61.0	65.0	69.0	72.0	75.0									
						実績	57.5	58.0	69.0	70.3	73.9									
	30	防犯灯設置基数	基	H23	7,965	目標値(策定時)	8,060	8,110	8,160	8,210	8,260	地区要望による施設数の増加に伴い達成	達成							
						目標値(計画見直し)	8,060	8,110	8,160	8,210	8,260									
						実績	8,070	8,149	8,207	8,394	8,548									
	31	高齢者の事故件数(1月～12月)	件	H24	171	目標値(策定時)	165	160	155	150	145	全国的な傾向であるが、交通関係団体の啓発成果に伴い事故件数が減少傾向にあり達成	達成							
						目標値(計画見直し)	165	160	155	150	145									
						実績	126	127	122	110	108									
32	防犯カメラ設置数	基	-	-	目標値(策定時)	-	-	-	-	-	犯罪抑止効果及び状況証拠となる防犯カメラの計画的設置に伴い達成	達成								
					目標値(計画見直し)	13	13	13	14	14										
					実績	13	13	13	14	14										

第一次笛吹市総合計画後期基本計画施策別総括シート

将来像	まちづくりの方向	No.	施策	No.	総合計画で掲げる達成目標の達成状況・見込み										行政評価(施策評価)における総括(環境変化、成果水準実績、現状と課題)								
					指標		基準		達成目標					29年度達成状況の背景	29年度目標値の達成状況	後期基本計画期間における環境変化	ここ3年間の成果水準の実績	全体総括(現状と課題)					
					項目	単位	年度	数値	項目	H25	H26	H27	H28						H29				
みんなであそぶ・にぎわい・やすらぎ・きらめきのハーモニー	環境にやさしく、安心して健やかにくらせるまちづくり	10	快適で暮らしやすい生活環境づくり	33	(上水道)有収率	%	H23	75.1	目標値(策定時)	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	大規模な漏水が原因と考えられる。	未達成	成果がどちらかと言えば低下した	ここ3年間の成果水準の実績	全体総括(現状と課題)				
									目標値(計画見直し)	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0									
									実績	80.2	81.3	79.8	80.0	79.7									
				34	市営住宅入居世帯数	世帯	H24	329	目標値(策定時)	330	340	350	370	380	老朽化した住宅の募集停止と四日市場団地建替え事業に伴うものである。	未達成							
									目標値(計画見直し)	330	340	350	370	380									
									実績	321	308	307	291	275									
	35	市営温泉市民利用数(市営温泉利用度)	人	H24	338,250	目標値(策定時)	346,000	354,000	362,000	370,000	378,000	指定管理者によるサービス向上により、リピーターが増加したと考えられる。	達成										
						目標値(計画見直し)	346,000	354,000	362,000	370,000	378,000												
						実績	334,652	354,813	354,661	345,034	393,980												
	36	下水道普及率	%	H23	58.8	目標値(策定時)	59.7	60.0	60.3	60.6	60.9	計画的に事業を推進している結果達成	達成										
						目標値(計画見直し)	59.7	60.0	60.3	60.6	60.9												
						実績	60.6	61.0	62.8	64.8	65.8												
37	水洗化率	%	H23	82.7	目標値(策定時)	86.0	87.0	88.0	89.0	90.0	本管布設により、接続可能区域が広がったため未達成	未達成											
					目標値(計画見直し)	86.0	87.0	88.0	89.0	90.0													
					実績	85.4	87.3	87.0	85.7	87.4													
美しい環境を大切にす社会づくり	11	生活系可燃ごみの減量率	%	H23	28.0	目標値(策定時)	29.0	30.0	31.0	32.0	33.0	平成29年4月に有料指定ごみ袋を導入したため	達成	成果がどちらかと言えば向上した	ここ3年間の成果水準の実績	全体総括(現状と課題)							
						目標値(計画見直し)	29.0	30.0	31.0	32.0	38.0												
						実績	30.0	30.0	29.2	30.1	39.6												
						39	住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付件数	件	H23	371	目標値(策定時)						420	400	380	360	340	東電の買い取り価格の減少や、設置要望者で既存住宅へ設置がほぼ完了したこと、また新規住宅への設置者に限られてきたことから減少傾向にあることが考えられる。	未達成
											目標値(計画見直し)						420	400	380	360	100		
											実績						274	210	125	97	88		
40	エコ活動に取り組んでいる市民の割合	%	H22	72.7	目標値(策定時)	75.0	76.0	77.0	78.0	79.0	判断根拠として毎年実施していた「まちづくり基礎調査」を最終年度のみの実施としたため現時点での達成状況が不明のため背景も不明	未達成											
					目標値(計画見直し)	75.0	76.0	77.0	78.0	79.0													
					実績	77.2	-	-	-	71.9													
憩いと癒しの空間づくり	12	41	市民一人あたりの公園・緑地面積	㎡	H23	8.49	目標値(策定時)	8.49	8.70	8.70	8.70	9.15	緑の基本計画による緑化推進の成果により達成	達成	成果がどちらかと言えば向上した	ここ3年間の成果水準の実績	全体総括(現状と課題)						
							目標値(計画見直し)	8.49	8.70	8.70	8.70	9.15											
							実績	9.41	9.52	9.60	9.60	9.70											
		42	花づくり団体数	団体	H23	65	目標値(策定時)	67	70	72	74	76	広報等の啓発活動により維持されている。	達成									
							目標値(計画見直し)	67	70	72	74	76											
							実績	64	73	73	86	83											
		43	身近に自然とふれあうことができると感じている市民の割合	%	H23	69.7	目標値(策定時)	71.1	71.8	72.5	73.3	74.0	周囲を山々に囲まれ、森林、里山、水辺豊かな多くの川が流れる本市は恵まれた自然環境にあると考えられるが、未達成となった。	未達成									
							目標値(計画見直し)	71.1	71.8	72.5	73.3	74.0											
実績	68.3						-	-	-	71.5													
44	公園を利用している市民の割合	%	H23	38.6	目標値(策定時)	39.4	39.8	40.2	40.6	41.0	公園を利用する幼少年年齢層の減少、ゆとりある生活習慣の後退などが考えられる。	未達成											
					目標値(計画見直し)	39.4	39.8	40.2	40.6	41.0													
					実績	38.9	-	-	-	34.0													

第一次笛吹市総合計画後期基本計画施策別総括シート

将来像	まちづくりの方向	No.	施策	No.	総合計画で掲げる達成目標の達成状況・見込み										行政評価(施策評価)における総括(環境変化、成果水準実績、現状と課題)					
					指標		基準		達成目標					29年度達成状況の背景	29年度目標値の達成状況	後期基本計画期間における環境変化	ここ3年間の成果水準の実績	全体総括(現状と課題)		
					項目	単位	年度	数値	項目	H25	H26	H27	H28						H29	
みんなで奏でる「にぎわい・やすらぎ・きらめき」のハーモニー	環境にやさしく、安心して健やかにくらしを築いていく	13	健やかで生きいきと暮らせる環境づくり	45	日ごろから健康に心がけている市民の割合	%	H23	60.3	目標値(策定時)	61.5	62.0	62.5	63.0	63.5	判断根拠として毎年実施していた「まちづくり基礎調査」を最終年度の実施としたため背景は不明	未達成	◇H25年度から40歳の特定健診集団健診受診者の自己負担(1,000円)を無料とした。 ◇H26年度働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業が開始された。 ◇H26年度から人間ドック、個別医療機関健診の実施期間を延長した。 ◇H28年度から、胃内視鏡検査を導入した。 ◇H29年度からがん検診・健康診査の対象者見直しを行う。	成果がどちらかと言えば低下した	◇日ごろから健康に心がけている市民の割合は、H25年度の60.5%から49.8%と大幅に下がった。 ◇健康で充実した生活を送っている市民の割合は、H25年度の80.0%から83.1%と上昇した。 ◇健康診査(19～39歳)の受診率は、H27年度24.9%、H28年度28.4%、H29年度28.1%と増加傾向となっている。 ◇がん検診受診率は、H27年度40.8%、H28年度44.6%、H29年度40.6%と推移している。 ◇特定健診を受診した国民健康保険者の割合は、平成27年度47.3%(46.3%)、平成28年度48.1%(47.1%)、平成29年度51.0%(法定報告値は、10月に確定)と微増となっている。	◇平成28年度に第2次笛吹市健康増進計画を策定した。この中で、(1)生活習慣病の発症予防と重症化予防(2)社会生活を営むために必要な機能の維持向上(3)切れ目ない子育て支援(4)楽しく食べるための環境づくりを施策として取り組む基本目標としてあげている。(1)生活習慣病の発症予防と重症化予防の具体的な取組みとして、がん・循環器疾患・糖尿病の発症予防と重症化予防の具体的な取組みを計画している。がん検診については、国が示しているがん検診の指針に基づいた検診を実施し、平成29年度から対象者の見直しを行った。また、検診の受診率向上にむけて受診勧奨と要精密検査者のフォローを実施する。国民健康保険の医療費が高額な腎不全の早期発見・重症化予防のために、市独自で腎機能検査を特定健診・健康診査に追加している。生活習慣病の重症化予防事業・管理栄養士の派遣事業などの取組みや、各種健康教室を開催する。(2)社会生活を営むために必要な機能の維持向上の中では、自殺予防対策として、こころの健康相談を実施し、精神科医や臨床心理士等の専門職と保健所等の関係機関と連携しながら相談にあたる。
									目標値(計画見直し)	61.5	62.0	62.5	63.0	63.5						
									実績	60.5	-	-	-	49.8						
				46	特定健診を受診した国民健康保険被保険者の割合	%	H23	42.5	目標値(策定時)	48.0	51.0	54.0	57.0	60.0	H24年度から定期受診をしている特定健診の対象者に対して、同意の下主治医から特定健診項目の情報提供を受ける等の様々な取り組みを行っているが、保険者の健診に対する意識が高まらないことが影響していると考えられる。	未達成				
									目標値(計画見直し)	48.0	51.0	54.0	57.0	60.0						
	実績	45.5	46.4						47.3	48.1	51.0									
	47	健康で充実した生活を送っている市民の割合	%	H23	79.2	目標値(策定時)	80.1	80.2	80.3	80.4	80.5	判断根拠として毎年実施していた「まちづくり基礎調査」を最終年度の実施としたため背景は不明	達成							
						目標値(計画見直し)	80.1	80.2	80.3	80.4	80.5									
						実績	80.0	-	-	-	83.1									
	48	がん検診を受診した市民の割合	%	H23	31.4	目標値(策定時)	40.0	41.0	42.0	42.0	42.0	指針に基づいて検診対象の見直しをした影響も考えられる。	未達成							
目標値(計画見直し)						40.0	41.0	42.0	42.0	42.0										
実績						39.0	41.0	40.8	44.6	40.6										
49	健康診査(19～39歳)を受診した市民の割合	%	-	-	目標値(策定時)	16.0	16.0	16.0	17.0	17.0	健康への関心が高まってきていると考えられる。	達成								
					目標値(計画見直し)	16.0	16.0	16.0	17.0	17.0										
					実績	15.0	15.0	24.9	28.4	28.1										
安心して生み育てられる環境づくり	50	乳幼児健康診査受診率	%	H23	92.2	目標値(策定時)	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	子供の検診は医療機関だけでなく良いと考える親の数が固定化してきた結果増加傾向となっており達成	達成							
						目標値(計画見直し)	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0									
						実績	93.0	94.0	94.0	96.0	96.5									
	51	子ども食育教室の開催	回	H23	57	目標値(策定時)	58	59	60	60	60	山梨県栄養士の事業を利用したことにより達成	達成							
						目標値(計画見直し)	58	59	60	60	60									
実績						50	62	60	56	66										
52	子育て支援センター利用者数	人	H23	25,010	目標値(策定時)	28,800	29,300	29,550	29,800	30,050	子育てに対するニーズが高いことから達成	達成								
					目標値(計画見直し)	28,800	29,300	29,550	29,800	29,550										
					実績	28,420	31,321	41,465	39,541	41,553										
53	子どもの医療費支給件数	件	H23	121,000	目標値(策定時)	175,000	181,000	181,000	180,000	180,000	制度が周知され受診しやすい体制が整ったことが原因で増加傾向にあるが、中学生の受診率が想定より低かったため目標は未達成	未達成								
					目標値(計画見直し)	175,000	181,000	181,000	180,000	149,230										
					実績	144,468	141,206	143,451	146,306	142,698										

第一次笛吹市総合計画後期基本計画施策別総括シート

将来像	まちづくりの方向	No.	施策	No.	総合計画で掲げる達成目標の達成状況・見込み										行政評価(施策評価)における総括(環境変化、成果水準実績、現状と課題)								
					指標		基準		達成目標					29年度達成状況の背景	29年度目標値の達成状況	後期基本計画期間における環境変化	ここ3年間の成果水準の実績	全体総括(現状と課題)					
					項目	単位	年度	数値	項目	H25	H26	H27	H28						H29				
みんなで奏でる“にぎわい・やすらぎ・きらめき”のハーモニー	高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり	15	高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり	54	健康のために続けていることがあると答えた高齢者の割合	%	H23	72.7	目標値(策定時)	73.0	73.5	74.0	74.5	75.0	判断根拠として毎年実施していた「まちづくり基礎調査」を最終年度のみの実施としたため現時点での達成状況が不明のため背景も不明	未達成	◇各種高齢者データの5年間(H23.4.1→H28.4.1)の推移 ①高齢化率:23.6%→27.8%、②後期高齢者率:12.2%→13.7%、③在宅単居高齢者:14.1%→20.9%、④認知症高齢者:10.4%→11.6% ◇要介護認定者の推移:H23年度末2,659人→H27年度末3,132人 ◇介護保険法一部改正(H27年度)①介護予防(訪問・通所)介護が、市の事務(地域支援事業)に移行。②「在宅医療と介護連携」「認知症施策」等が市の事務に位置付け。③定員18人以下の通所介護が市の地域密着型サービスへ移行。④介護老人福祉施設(特養)等の入所要件が要介護3以上に限定。 ◇H23～H27年度に、小規模特養が4箇所、グループホームが1箇所開設。 ◇H28年度から、総合事業がスタートし、ボランティアによる高齢者の支援が追加された。	成果がどちらかと言えば向上した	◇健康のために続けていることがあると答えた高齢者の割合は、H25年度71.0%、H29年度63.5%と減少してきている。 ◇健康な高齢者の割合は、H27年度83.9%、H28年度84.0%、H29年度84.1%と僅かではあるが向上している。 ◇健康で充実した生活を送っている高齢者の割合は、H25年度74.1%、H29年度74.7%と増加してきている。 ◇1号被保険者介護サービス利用率は、H27年度87.8%、H28年度89.1%、H29年度91.9%と増加してきている。	◇笛吹市の高齢化率(H29年度、高齢者福祉基礎調査)は、28.4%で、全国(27.5%)よりは高い数値ではあるが、山梨県(28.8%)とでは同程度にある。 ◇高齢化や核家族化が進み高齢者のみの世帯が増えていることで、高齢者が高齢者を介護する「老老介護」が課題となっている。 ◇高齢者が、地域で活躍したり、生きがいを持って暮らせる社会をつくっていく必要がある。 ⇒高齢者の引きこもりをなくしたり、運動機能を向上する介護予防事業に取り組む。(通所型介護予防事業) ⇒一般高齢者に対しては、早いうちから「やってみるじゃん」などの介護予防事業への参加を促す。(地域介護予防活動支援事業) ◇今後は、高齢者の在宅生活を支えるために、医療・介護・福祉などにおいて地域の持つ力を連携させ、在宅で医療が受けられ、介護が必要になっても在宅で生活が継続できる仕組みの確立を目指し、生きがいづくりから介護予防まで元気に過ごせる体制整備を進める必要がある。 ◇在宅医療・介護の連携を進めるうえで、医療機関と介護事業者との情報共有が課題となっている。 ◇認知症高齢者の割合が、増加傾向にある。 ◇介護予防に向け自主的に実施する「いきいき百歳体操」や「フレイル予防」の推進が必要である。(※フレイルとは、加齢とともに運動機能や認知機能が低下してきた状態)			
									目標値(計画見直し)	73.0	73.5	74.0	74.5	75.0									
									実績	71.0	-	-	-	63.5									
									55	健康な高齢者の割合	%	H23	87.1	目標値(策定時)	84.0	84.0					83.9	84.0	84.0
	56	健康で充実した生活を送っていると答えた高齢者の割合	%	H23	70.3	目標値(策定時)	72.1	72.2	72.3	72.4	72.5	目標値(計画見直し)	72.1	72.2	72.3	72.4	72.5	実績	74.1	-	-	-	74.7
	57	介護サービス利用率	%	H23	84.7	目標値(策定時)	85.5	86.0	86.5	87.0	87.5	目標値(計画見直し)	85.5	86.0	86.5	87.0	87.5	実績	86.1	85.9	86.3	89.1	91.9
	障がい者の自立を支援する環境づくり	16	障がい者の自立を支援する環境づくり	58	市内で障がい者の受け入れを行っている事業所数	事業所	H23	22	目標値(策定時)	23	23	23	24	24	卒業生の進路指導や就労施設の支援充実及び事業所側の理解が進んだ結果と考えられる。	達成	◇H25.4 障害者優先調達推進法施行◇H25 障害者自立支援法が障害者総合支援法に改められ障がい者の範囲に難病等が追加された。◇H26.1 障害者の権利条約批准◇障害者基本法の一部改正や障害者権利条約の批准を受け、手話言語法の制定に向けた動きが活発化しており各自自治体でも手話言語条例の制定が進んでいる。◇精神障害者を中心とした、障害者雇用が促進されている。	成果がどちらかと言えば向上した	◇市内で障がい者の(就労)受け入れを行っている事業所数は、H27年度32件、H28年度35件、H29年度35件と増加傾向にある。 ◇相談支援事業における相談回数は、H27年度4,505回、H28年度5,490回、H29年度6,660回と大幅な増加傾向にある。 ◇ハンディキャップのある方が住みやすい社会だと思ふ市民の割合は、H25年度の12.5%と比較し、H29年度は、15.5%と上昇している				
									目標値(計画見直し)	23	23	23	24	24									
									実績	29	24	32	35	35									
	59	相談支援事業における相談件数	件	H23	5066	目標値(策定時)	5,200	5,300	5,400	5,500	5,600	目標値(計画見直し)	5,200	5,300	5,400	5,500	5,600	実績	4,757	4,234	4,505	5,490	6,660
	60	ハンディキャップのある方が住みやすい社会だと思ふ市民の割合	%	H23	14.4	目標値(策定時)	15.0	15.5	16.0	16.5	17.0	目標値(計画見直し)	15.0	15.5	16.0	16.5	17.0	実績	12.5	-	-	-	15.5
	暮らしの基礎を支える安心なくみづくり	17	暮らしの基礎を支える安心なくみづくり	61	病気や高齢になっても生活できると考えている市民の割合	%	H23	16.4	目標値(策定時)	18.5	19	19.5	20	20.5	判断根拠として毎年実施していた「まちづくり基礎調査」を最終年度のみの実施としたため現時点での達成状況が不明のため背景も不明	未達成	◇高齢化や医療の高度化に伴って医療費が増えている。◇少子高齢化に伴い後期高齢者医療の被保険者の数は増えている。◇保険税(料)の収納率が上昇している。◇介護保険制度が市民に定着し、利用者が増えている。◇H27年度の介護保険法一部改正により、低所得者の1号保険料が軽減され、高所得者の介護サービス利用負担割合が引き上げられた。◇生活保護受給者が増加している。	成果がどちらかと言えば向上した	◇病気や高齢になっても生活できると考えている市民の割合は、H25年度の16.5%から18.9%と上昇した。 ◇社会保障制度を理解している市民の割合は、H25年度の55.9%から61.7%と上昇した。 ◇国民健康保険税の現年度分収納率は、H27年度94.3%、H28年度95.0%、H29年度95.2%と増加傾向であった。 ◇生活保護受給者就労者数は、H27年度11人、H28年度14人、H29年度12人と増加傾向であった。				
目標値(計画見直し)									18.5	19.0	19.5	20.0	20.5										
実績									16.5	-	-	-	18.9										
62									社会保障制度を理解している市民の割合	%	H23	55.7	目標値(策定時)	60.0	60.0	60.0				62.0	62.0	目標値(計画見直し)	60.0
63	国民健康保険税(現年)収納率	%	H23	90.9	目標値(策定時)	91.2	91.2	91.3	91.4	91.5	目標値(計画見直し)	91.2	91.2	91.3	91.4	91.5	実績	91.3	91.8	94.3	95.0	95.0	
64	生活保護受給者のうち仕事に就いた人(延べ人数)	人	H23	5	目標値(策定時)	9	9	10	10	10	目標値(計画見直し)	9	9	10	10	10	実績	15	9	11	14	12	

第一次笛吹市総合計画後期基本計画施策別総括シート

将来像	まちづくりの方向	No.	施策	No.	総合計画で掲げる達成目標の達成状況・見込み										行政評価(施策評価)における総括(環境変化、成果水準実績、現状と課題)			
					指標		基準		達成目標					29年度達成状況の背景	29年度目標値の達成状況	後期基本計画期間における環境変化	ここ3年間の成果水準の実績	全体総括(現状と課題)
					項目	単位	年度	数値	項目	H25	H26	H27	H28					
みんなで奏でる“にぎわい・やすらぎ・きらめき”のハーモニー	子どもたちの個性を尊重する学校づくり	18	標準学力検査(NRT)全国平均値達成の割合	%	H24	60.0	目標値(策定時)	62.0	62.0	63.0	63.0	64.0	実施時期が年度末に変更され、実施時期も余裕を持って行えるよう配慮したこと、数値が上昇したものと考えられる。	達成	◇H24年小中学校普通教室にエアコンを設置した。 ◇H25年石和中学校給食棟完成。笛吹市学校教育ビジョン改訂 ◇H26年度から、指導主事2名配置 ◇H29年度から就学援助費の就学前支給開始予定	成果がどちらかと言えば向上した	◇標準学力検査(NRT)全国平均値達成率は、平成27年度61.0%、平成28年度56.0%と低下傾向になっていたが、本年度になり67.6%と上昇し、目標値を超える結果となった。 ◇新体力テスト総合点平均値(中2男子)は、H27年度41.4点、H28年度43.7点と上昇したものの、H29年度は43.3点とやや減少に転じた。 ◇「学校は楽しいと思う」児童生徒の割合は、H27年度88.5%、H28年度85.8%と減少傾向であったが、H29年度には88.7%と上昇に転じた。	◇H26年度に改訂した笛吹市学校教育ビジョンの具現化に取り組んでいる。 ◇教育環境の充実としては、H26年度に石和中学校の給食棟建替え、芦川小学校の体育館改築、H29年度に芦川小学校の擁壁工事等に取り組んだ。H28年度より、石和地区給食センターの建設準備に着手し、H31年度に供用開始を目指している。 ◇H24年度から保護者への不審者情報等の提供を行う学校安全安心メールを構築・運用し、活用している。 ◇小学校及び中学校の市費負担教職員配置事業において、教職員の配置を進め、学校教育に対する支援を図ってきた。また、小中学校の図書館に市独自に学校図書館司書を配置したり、生徒指導上困難な学校に学校安全サポーターの配置をおこなったりしている。今後も、児童生徒一人一人に応じた教育ができるように、さらなる教育環境の充実を図る必要がある。 ◇ふえふき教育相談室など教育相談の充実により、不登校児童・生徒へのきめ細かな対応を行っている。 ◇引き続き通学路の安全確保、施設の老朽化や時代の要望に伴う整備に取り組む必要がある。 ◇笛吹市いじめ防止基本方針をもとに、いじめ防止への対応を行っている。 ◇道徳性意識調査は道徳が教科化され、各校において評価を行うことからH26年度を持って終了した。 ◇老朽化が進む学校施設の修繕と計画的な改修が求められている。 ◇学校施設の構造物としての耐震化は完了しているが、窓ガラスや照明等非構造部材の耐震化を進める必要がある。
							目標値(計画見直し)	62.0	62.0	63.0	63.0	64.0						
							実績	67.0	69.0	61.0	56.0	67.6						
							道徳性意識調査の値(小6)	点	H24	80.3	目標値(策定時)	80.5	80.5	81.0				
	目標値(計画見直し)	80.5	80.5	81.0	81.0	81.5												
	実績	85.3	84.2	-	-	-												
	新体力テストの合計点の平均値(中2男子)	点	H24	42.2	目標値(策定時)	43.5	43.6	43.6	43.7	43.7	年度ごとの学年の特徴により数値の増減はあるが、体力向上に継続して努力している成果が現れているものと考えられる。	未達成						
					目標値(計画見直し)	43.5	43.6	43.6	43.7	43.7								
					実績	43.1	41.9	41.4	43.7	43.3								
	学校は楽しいと思う児童の割合(小5)	%	H24	90.9	目標値(策定時)	91.0	91.0	91.5	91.5	91.5	各学校における様々な要素が影響するので、この年度だけでは成果は計れない。目標値に比べると低いが、決して低い値ではないと考える。	未達成						
					目標値(計画見直し)	91.0	91.0	91.5	91.5	91.5								
					実績	85.6	89.3	88.5	85.8	88.7								
子どもの健やかな成長を支える環境づくり	19	子どもの健やかな成長を支える環境づくり	虐待相談件数	件	H23	97	目標値(策定時)	95	95	95	95	95	虐待が疑われる事案について、警察から児童相談所へ事前に照会することとしたため、警察からの調査依頼の件数が減少した。	未達成	◇青少年に有害な情報が携帯サイトやインターネット上に氾濫◇青少年育成関係団体の活動が固定化し緊張感や危機感が薄らいでいる。◇深夜営業をしているアミューズメント施設や公園など、深夜から早朝にかけて青少年のたまり場となりやすい施設があることから、所轄警察署及び青少年育成推進協議会役員を中心にパトロールの強化を行っている。◇小中学校安全安心メール運用開始◇放課後の子どもを対象にした学童保育や生涯学習課における放課後子ども教室の充実を図った。	成果はほとんど変わらない(横ばい状態)	◇虐待相談件数は、H27年度68件、H28年度152件と増加傾向であったが、H29年度は100件 ◇放課後、休日の児童館を利用する児童・生徒の数は、H27年度29,774人、H28年度29,682人、H29年度29,008人と減少傾向であった。 ◇子どもクラブ等の青少年関係団体への加入率は、H26年度96.6%、H27年度以降については、子どもクラブ安全保険には加入しなくなったことにより数値の把握ができなくなった。 ◇所轄警察署管内の非行少年及び補導者数は、H27年度の900人から、H28年度には513人と大きく減少したものの、H29年度には654人と再び増加している。	
							目標値(計画見直し)	95	95	95	95	145						
							実績	90	56	68	152	100						
							子どもクラブに加入している小中学生の割合	%	H24	89.6	目標値(策定時)	90.1	90.6	91.1				91.6
目標値(計画見直し)	90.1	90.6	91.1	91.6	92.1													
実績	97.4	96.6	-	-	-													
所轄警察署管内の不良行為少年補導件数	人	H22	334	目標値(策定時)	334	317	301	286	272	笛吹警察署において喫煙、深夜徘徊等の不良行為少年の補導活動を強化したことによる抑止効果が十分に働かなかった。	未達成							
				目標値(計画見直し)	334	317	301	286	272									
				実績	690	591	900	513	654									
放課後、休日の児童館を利用する児童生徒の数	人	H23	27,049	目標値(策定時)	33,000	35,000	37,000	39,000	41,000	放課後子ども教室や学童保育クラブなど子どもの過ごす場所が充実していると考えられる。	未達成							
				目標値(計画見直し)	33,000	35,000	37,000	39,000	29,700									
				実績	30,373	32,469	29,774	29,682	29,008									
いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり	20	何らかの学習を続けている市民の割合	%	H23	23.1	目標値(策定時)	23.4	23.9	24.4	24.9	25.4	各講座を継続させ、生涯学習の機会の提供に努めている。	達成	◇団塊世代の退職等に伴い余暇をもつ年齢層が増え、生涯学習、ボランティアのニーズが増えている。◇6図書館の相互貸出しなどにより図書機能の充実を図っている。◇施設の老朽化が進み、維持管理費が増加するとともにニーズにあった利用環境が求められている。◇社会教育施設管理に指定管理者制度を導入。◇地域の公民館を使った地域に根ざした講座(スコンティ講座)を展開している。◇市民講座の充実に伴い、自主講座の開設も生涯学習コーディネーターの支援により年々増加している。	成果がどちらかと言えば低下した	◇何らかの学習を続けている市民の割合は、H25年度の23.4%から26.5%と上昇した。 ◇自主学習グループ数は、H26年度58団体と向上してきたが、H27年度53団体と5団体減少となった。H28については55団体と向上し、H29年度には58団体と回復している。 ◇図書資料の総貸出件数は、H27年度546,237件、H28年度521,642件、H29年度487,837件と減少している。		
						目標値(計画見直し)	23.4	23.9	24.4	24.9	25.4							
						実績	23.4	-	-	-	26.5							
		自主学習グループ数	団体	H23	43	目標値(策定時)	47	50	52	53	54	市民講座終了後の継続学習の推進の成果が現れたと考えられる。	達成					
						目標値(計画見直し)	47	50	52	53	54							
						実績	55	58	53	55	58							
図書資料の総貸出件数	件	H23	668,352	目標値(策定時)	670,400	680,400	691,600	703,000	714,600	生活環境の変化や携帯電話・スマホの利用拡大により、読書に費やす時間が少なくなっていると考えられる。	未達成							
				目標値(計画見直し)	670,400	680,400	691,600	703,000	714,600									
				実績	581,467	540,915	546,237	521,642	487,837									

第一次笛吹市総合計画後期基本計画施策別総括シート

将来像	まちづくりの方向	No.	施策	No.	総合計画で掲げる達成目標の達成状況・見込み										行政評価(施策評価)における総括(環境変化、成果水準実績、現状と課題)				
					指標		基準		達成目標					29年度達成状況の背景	29年度目標値の達成状況	後期基本計画期間における環境変化	ここ3年間の成果水準の実績	全体総括(現状と課題)	
					項目	単位	年度	数値	項目	H25	H26	H27	H28						H29
みんなで奏でる「にぎわい・やすらぎ・きらめき」のハーモニー	将来像実現に向けた取り組み	24	親しみやすく機能的な市役所づくり	86	市役所の窓口サービスが充実し、便利になったと感じている市民の割合	%	H23	38.4	目標値(策定時)	38.0	41.0	44.0	47.0	50.0	市民窓口館への窓口サービスの集積や証明書自動交付機の導入など、市民の利便性に配慮した取り組みを進めることで若干の数値向上は見られたものの市民の実感は少ないと考えられる。	未達成	<p>◇H25年度本庁の耐震改修工事を実施。◇H25年5月から南館に市民窓口業務を集約した。</p> <p>◇H23年3月からセブンイレブン、H25年4月からローソン、12月からファミリーマートの全国の店舗で、住民票の写し・印鑑証明の取得が可能となった。</p> <p>◇H27年10月に番号法が施行され、順次マイナンバー(個人番号)の利用や情報連携がH29年7月から始まった。◇H27年度で住基カードの発行が終了し、翌年から個人番号カードの発行が始まった。これにあわせて、自動交付機7台を撤去した。</p> <p>◇H24年よりフェイスブック、ツイッターを活用した情報発信を行っている。</p> <p>◇H25年度より市民への情報発信ツールとして出前学習会を実施した。</p>	<p>◇市役所の窓口サービスが充実し、便利になったと感じている市民の割合は、H25年度の36.9%から39.6%と上昇した。</p> <p>◇個人番号カード(住基カード含む)の利用率は、H27年度は38.6%、H28年度は31.6%、H29年度は29.9%と減少傾向となっている。</p> <p>◇ホームページアクセス件数は、H27年度150万件、H28年度159万件、H29年度142万件であり、H29年度は前年度より17万件減少している。</p>	<p>◇番号法施行に伴って情報セキュリティ対策を講じる必要がある。</p> <p>◇H28年1月から個人番号制度導入により、住基カードから個人番号カードへ移行され、更なる市民サービスの向上、行政サービスの拡充などが図られるよう、適格な移行を進めるとともに普及促進を図る。現在は個人番号カード(住基カードを含む)を利用することにより、住民票の写し、印鑑証明書のコンビニ交付(セブンイレブン、ローソン、ファミリーマートで午前6時30分から午後11時まで)が可能となっている。個人番号カードの発行数増加が課題となっている。</p> <p>◇市民に対し有効な情報伝達に繋げるため、H30年度にHPをリニューアルし、使いやすさ、見やすさ、わかりやすさを向上させるように取組む。しかし、ホームページリニューアルによりアクセス数が増加することの因果関係は確認されておらず、アクセス数の増加を図るには、市内外向けに情報発信するコンテンツの充実が重要と考えられる。</p>
									目標値(計画見直し)	38.0	41.0	44.0	47.0	50.0					
									実績	36.9	-	-	-	39.6					
				87	個人番号カード(住基カード含む)利用率	%	H23	43.7	目標値(策定時)	45.0	46.5	48.0	49.5	51.0	個人番号カードの利活用に伴い、H27年12月に各支所等に設置していた、住基カードに対応した、自動交付機を撤去したため、利用者が減少したことが考えられる。	未達成			
									目標値(計画見直し)	45.0	46.5	48.0	35.0	33.0					
									実績	44.5	42.0	38.6	31.6	29.9					
				88	ホームページアクセス数	万件	H23	143	目標値(策定時)	170	173	176	179	182	市公式ホームページ以外にも「ふえふき観光ナビ」などから情報取得ができるようになったことが要因である。	未達成			
									目標値(計画見直し)	170	173	176	179	182					
									実績	166	170	150	159	142					
	健全で安定した行財政基盤づくり	89	市税収納率(現年度)	%	H23	96	目標値(策定時)	96.5	96.7	96.9	97.2	97.4	以前から取組んだ滞納整理の成果が現れてきたと考えられる。	達成	<p>◇市議会議員の定数を削減している。(H20年において30→24、H24年において24→21)</p> <p>◇H27年度からクレジット納付を開始した。</p> <p>◇H28年度まで都市計画税の課税猶予期間を延長した。</p> <p>◇H29年度に第4次行革大綱を策定した。</p> <p>◇合併特例債の発行期限が延長(H36年度まで)された。</p>	<p>◇市税収納率(現年度)は、H27年度96.9%、H28年度97.7%、H29年度97.8%と増加傾向となっている。</p> <p>◇将来負担比率に関しては、H27年度77.6%、H28年度70.4%、平成29年度67.0%と毎年改善している。</p> <p>◇一般会計経常収支比率に関しては、H27年度89.0%、H28年度92.5%であったが、平成29年度88.9%となり、若干改善した。</p>			
							目標値(計画見直し)	96.5	96.7	96.9	97.2	97.8							
							実績	96.4	96.8	96.9	97.7	97.8							
90		将来負担比率	%	H23	85.8	目標値(策定時)	98.0	100.1	98.6	102.7	103.6	一般会計借入残高及び公営企業債返済に係る一般会計繰出見込み額が減少したため。	達成						
						目標値(計画見直し)	98.0	100.1	98.6	102.7	103.6								
						実績or見込値	74.4	81.5	77.6	70.4	67.0								
91	一般会計経常収支比率	%	H23	81.8	目標値(策定時)	89.0	88.0	89.0	89.0	89.0	一本算定化による普通交付税の減少により、経常一般財源が減少したものの、経常経費である公債費及びごみ処理関連の経常経費が減少したため。	達成							
					目標値(計画見直し)	89.0	88.0	89.0	89.0	89.0									
					実績	84.8	88.4	89.0	92.5	88.9									